



[DSC00345](#)



[天竜楽市の展示](#)

浜松市天竜区の山間部は、高品質な茶の生産に適している。同地で生産されるお茶は全国でも評価が高い。全国茶品評会では、同地の生産者がつねに上位入賞している。2017年では大臣賞を受賞した。

しかしながら、同区は、過疎と高齢化が著しい。10年間で20～30%の人口減少がみられる。そこで、浜松市天竜区の活性化に取り組む「天竜楽市」(森下薫代表)は、ピンチこそチャンスとして、天竜茶の認知度の向上に取り組んでいる。

7月14日、天竜茶のブランド強化のために、アンテナショップを同区二俣にオープンした。玉露やかぶせ茶中心60商品を取り扱っている。

森下薫代表は、春野、水窪、旧天竜市の生産者を直接訪ね歩き、市場にほとんど出回っていない単品種のレアな茶まで仕入れた。そして、オリジナルデザインのパッケージに封入して販売している。

アンテナショップは国道152号沿いのスルガ銀行天竜支店の隣。音楽ライブや茶会のイベントなども、不定期に催される。また、天竜川社会実験として、河川敷での「天竜茶フェス」を開催している。

問い合わせ先は、天竜楽市：TEL053(925)0707。

浜松北部生きがい特派員 池谷 啓